



HPはこちら

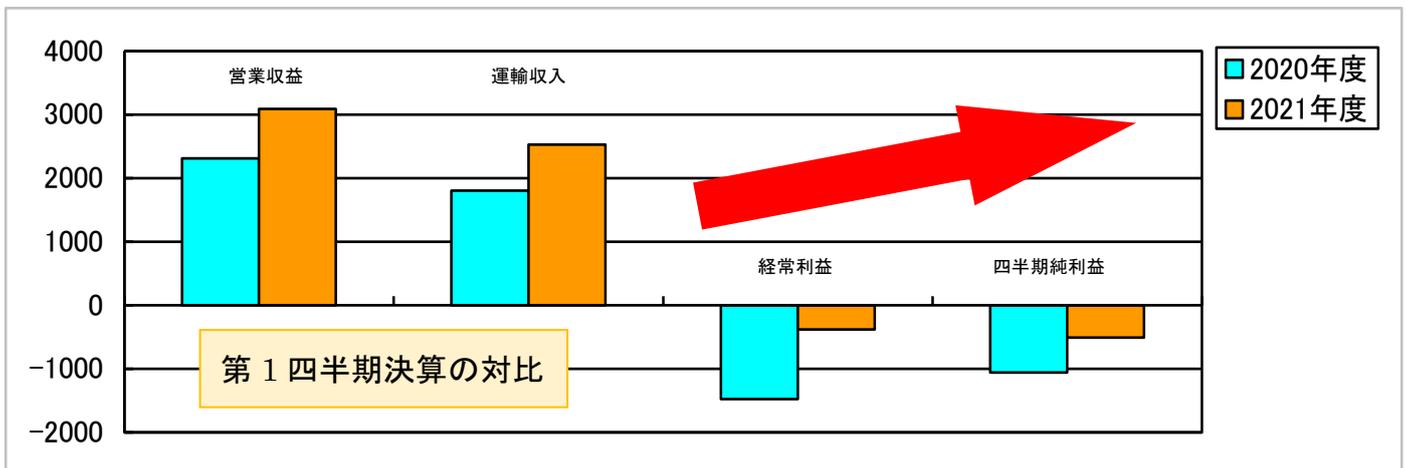
東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年8月11日 No.346

J R 東日本 2021年度第1四半期決算発表

2021年度通期の業績予想に変更なし！

J R 東日本は7月30日に「2021年度第1四半期決算」を発表しました。単体決算では新型コロナウイルスの影響を受け、第1四半期決算としては過去2番目に低い営業収益、運輸収入となりました。2期連続で営業損失、経常損失、四半期純損失を計上するなど、大変厳しい業績動向であることを受け止めつつも、昨年同時期よりも営業収益が3,089億円/対前年775億円・133.5%、運輸収入が2,529億円/対前年比727億円・140.4%であることや2021年度通期の黒字の業績予想を変更しないことなど、決して悲観的な見通しばかりではないことも見ていきましょう！



2025年度時点の人件費は2020年度と同水準に抑制！？

「2021年度第1四半期決算」と同日に発表された、「J R 東日本グループレポート2021 (INTEGRATED REPORT)」には、グループ経営ビジョン「変革2027」および「変革のスピードアップ」で掲げる成長戦略のほか、2020年度の事業活動に関する財務情報や ESG の取り組み、2025年度までの数値目標などが掲載されています。

その中で、運輸事業の【営業費用の見通し】(2025年度時点)として「**人件費：2020年度と同水準に抑制、修繕費：2,850億円程度に抑制**、物件費その他：収入対応経費を除き、2020年度と同水準に抑制」など「抑制」の文字が並んでいます。

2025年度の運輸事業における営業収益は、コロナ前の2019年に匹敵する19,700億円、営業利益は2019年度を超える2,520億円を目標としています。コロナ禍を乗り越え、目標を実現したその先に「社員の賃金や期末手当の削減に依存した」人件費の抑制があってはなりません。現場社員は今、一丸となって今年度の黒字化達成と当社グループの持続的成長に向けて奮闘しています。私たち東日本ユニオンは黒字化を実現し、正当な労働対価、成果配分を求め、社員の生活や未来への不安を払しょくすることをめざしています。

私たちと一緒に生活の土台である賃金・手当について考えていきませんか！